

豊中らしさを創る

無所属

豊中市議会議員

温故創新

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と豊中新時代へ！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールへ向かって走ります。

Mポイント20%還元！

Tポイントやdポイント、Rポイントはご存知のとおり、日頃からポイントが貯まっている方も多いと思います。

Mポイントはマチカネポイントのことです。豊中市独自の自治体ポイントとして私が提案し、地域経済活性化策として実現しました。Mポイントはイベントやボランティアなどに参加することで付与されるので、思いがけずポイントが貯まっております。

市内約1500店舗でつかえる！

プレミアム付き商品券のデジタル版としても活用され、約11万5千人がアプリをダウンロードしています。

現在、コンビニ払いでチャージしていただくと、年間5万円まで5%付与中です。2千5百円分お得になりますので、この機会に少額からでもご利用ください。年間5万円は年度内の上限ですので、新年度になれば、また5%付与されます。

Mポイントは決済手数料がかかりませんので、お店にとってもやさしい決済になっています。クーポン機能も追加され、ますます便利に、お得になりました。

チャージ支払で20%還元！

5月以降になりますが、Mポイントの支払いで20%還元（上限2千ポイント）を実施する予定です。チャージ付与とあわせてご利用いただくと、最大4千5百円分がお得になります。

再考すべき窓口外部委託

市役所の窓口対応について、お褒めの言葉をいただくことがあります。平成29年度より民間事業者に外部委託しています。「市役所で働く人Ⅱ公務員」というイメージだと思いますが、お役所仕事を民間事業者が見事に担われています。

外部委託は行財政改革

財政の健全化という観点にたつて、「民間にできる仕事は民間に」と外部委託が進められてきました。当時の委託料は1億7千2百万円で、コスト削減効果は7千4百万円と試算されていました。当時の私は賛成でしたし、議会でも多数決によって進められてきました。これまではコスト削減効果を享受してきましたが、現状では人件費も物価も上昇しています。直近の委託料は2億7千3百万円となっており、行財政改革前よりもコスト高で、本末転倒になっています。

窓口を再び内部化できるか

民間事業者が担うようになって、お褒めの言葉をいただくわけですから、その観点では、コスト高でもやむを得ないかもしれません。しかし、税金を無駄遣いしないという観点からすれば、再考すべき時期にあることを指摘しています。窓口を再び直営するためには、あらためて人材育成が必要であり、すぐには切り替えられません。

生活保護受給者のために

2023年末時点での生活保護受給者は7657世帯9556人（うち高齢者4902人）であり、不正受給は許さないという立場ですが、不正受給だけを取り締まっても、生活保護受給者が増える根本的な解決には至りません。

健康管理支援事業

約4百万円の予算で生活保護受給者のうち、就労が困難な方への支援をしています。日常の生活リズムを整えるため、社会的居場所を提供し、パソコンの練習などを行っています。延べ402名が参加し、107名が就職に至っています。生活保護からの社会復帰を促す観点でもとても重要だと考えています。

金銭感覚と家計管理

やむをえず生活保護受給に至る場合でも、就労につなげ、再チャレンジできる仕組みが必要です。生活保護を終身で受けるような制度では増えていく一方です。再チャレンジの第一歩として、家計簿をつけることが大切です。高校生にも金融教育が始まり、教科書で勉強する時代ですから、生活保護世帯にも家計管理の啓発を始めるように提案しました。

具体的には生活保護を開始した時又は家庭訪問で説明するツールとして、家計管理の啓発チラシが作成され、取り組みがスタートしています。

メールマガジンを発行しています。ご希望の方は office@matsuoka-akimichi.net までお知らせください。

59号です。5期目は議員の仕事のみならず、職員の仕事もこなす勢いで頑張ります。



水道加入金を廃止へ

法的安定性が揺ぐ給水条例

給水条例を根拠に徴収している水道加入金は、建物を新築する場合など、水道供給を開始するにあたり、新旧利用者間の負担の公平を図る目的で事業者から徴収しています。実質的には販売価格に転嫁されていますので、購入者が間接的に加入金を支払っています。

全国約8割の自治体给水加入金を徴収していますが、法的根拠はなく、豊中市の場合は給水条例を根拠に徴収しています。近年では、法的根拠がなく、給水条例を根拠にしている別事案について、敗訴する判例が出たことから、根拠の揺らぐ加入金の徴収をやめて、水道料金に転嫁する自治体が出てきました。

水道原価の上昇と料金値上げ

物価上昇が目立つ現在において、水道料金も例外ではなく上がってきました。平成27年には予見できた値上げに対して、段階的な措置を提案してきましたが、実際の料金値上げは見送られてきました。これまでの上下水道局の経営努力もむなし、水道加入金の廃止とあわせて、水道料金及び下水道使用料の価格改定を余儀なくされています。

3月の議会では、市民の負担となる加入金の廃止とあわせて、価格改定について、市民に対する説明が不足していることを追及しました。

森林環境税はじまる

住民税とあわせて徴収

森林環境税は国税ですが、徴収事務は市町村で、個人住民税均等割と併せて徴収されます。国から豊中市には森林環境譲与税として補助され、環境目的の特定財源となります。住民税が上がるというのは誤解ですが、納税者に支持される使途が求められます。

令和元年度から森林環境譲与税は導入されており、豊中市は風致保安林の整備に充てる一方で、大半を公共施設等整備基金に積み立ててきました。森林環境譲与税は使途制限があるため、将来的には公共施設の木質化などに使われます。

J-クレジットと森林整備

カーボンオフセット事業において、豊中市は二酸化炭素の排出権を購入しています。J-クレジットの取組みにおいて、豊中市が歳入確保の観点から売却することを提案しています。原田苗圃を公園整備するため、機能移転が必要であり、南部地域の緑被率が低いことから、学校廃校跡地を森林化すれば、J-クレジットで売却できます。森林環境税を財源とし、ゼロカーボンシティを実現できます。

大規模緑化で変わる価値観

JR大阪駅に隣接する土地を緑化し、大規模な都市公園が誕生します。採算を度外視しても、都市緑化が必要な時代に突入し、価値観も変わっていきます。

公共交通とまちづくり

豊中市は交通至便な町ですが、北大阪急行の延伸やリニア開通を視野に入れた阪急十三駅とJR新大阪駅との接続などで、大きな過渡期にあります。

北大阪急行延伸とバス交通

北大阪急行の延伸にともない、バス路線が大幅に見直され、千里中央駅から発着しているバスの3割がなくなるそうです。千里中央の再整備と合わせ、現在は分散しているバスターミナルの集約が必須であり、千里文化センターコア一階のバスターミナルを返還してもらって、有効活用を提案しています。

新大阪駅と庄内駅を結ぶ

南部地域の活性化は大きな課題ですが、庄内駅と新大阪駅を結ぶ既存のバス路線の利便性が悪く、改善が必要です。十三駅と新大阪駅が結ばれると、廃線になってしまうかもしれません。地下鉄御堂筋線は府軸であり、市軸である阪急宝塚線との東西交通バス路線が地域の活性化に繋がります。さらに新大阪は国家軸ですから、シャトル便で結ぶことが至上命題です。

交通インフラ調査特別委員会

今年度から特別委員会を設置して、議論しています。他にもシェアサイクルや乗合タクシー、阪急神戸線神崎川駅の橋上化など、まちづくりには不可欠な交通インフラ整備に尽力します。

地域医療と市立病院

空港メディカルクリニック

空港メディカルセンターを一般財団法人豊中市医療保健センター(市出資団体)が吸収し、改称しました。空港利用者や空港で働く人はもちろん、市民が利用できます。経営健全化が喫緊の課題ですので、注視しています。

保健所が担う健康と医療

コロナ禍において、豊中市保健所が市民にとってかけがえのない存在であることを痛感しました。健康増進や公衆衛生、感染症対策など様々な業務を担っています。保健所機能の強化が求められる中で、人材確保が喫緊の課題となっています。

市立病院の経営努力

市立病院で使われている水のほとんどは地下水をくみ上げています。水道水の購入と比べ、年間18百万円の経費削減につながっています。余剰水も多く、温泉療法などにも取り組んでほしいと要望をしています。

コロナ禍での恩恵と反動

市立病院はコロナ感染者の病床を確保したことで国の補助金を受け、累積赤字を解消してきました。しかしながら、コロナ後は患者さんの戻りが遅く、国の補助金もなくなったことから、大きな反動を受けており、病院経営は正念場にあります。

民間の技術やノウハウを公共のために役立てませんか？皆様からの情報提供をお待ちしております。

お声かけいただければ、少人数でも議会報告させていただきます。どこでも伺いますので、お申し付けください。

公務員の方へ。現場の声を聞かせてください。上司や部下には言えないことなど、相談も承ります。

とよなか創政記

市議会で市長が答ええない

SNSで話題の安芸高田市議会ですが、市長と市議会の対立が市内外の関心を集め、安芸高田市のユーチューブ公式チャンネルは登録者が東京都（人口1400万人で登録者数約18万人）を抜いて日本一になったそうです。

人口約3万人という町に何が起きているのか、その対立の是非は紙面の都合上、割愛しますが、日本中から注目されている議会であることは事実です。豊中市議会においては、それとは真逆のベクトルであり、無関心が招く政治・行政の腐敗さえ懸念します。

「議会で市長が答ええない」という場面は、前市長の時代から散見されましたが、現市長になっても引き継がれています。市長自身はどう思っているかは知りませんが、行政組織として「市長に答えさせるのは恥だ」という意識があると感じています。

そもそも、議員の質問に誰が答えるかは、議員が決めることはできませんし、議長にも強制力はありません。答弁をするにふさわしい人が答えるべきと考えていますので、ほとんどの質問において、議員から答弁者を指名することはありません。

しかしながら、行政の瑕疵やコンプライアンス違反などの重要な問題、市長は

議員としてはもちろん、認定インキュベーションマネージャーとしても豊中市の産業振興のために尽力します。

政治家でもありますから、政治姿勢などについては、市長や特別職を指名して質問をすることがあります。そうした場合には、議員が指名する以上、議会という開かれた場で、指名された人が答ええないというのは、傍聴人からすると「なんで答ええないの？」という疑念を抱くことになります。

こうした緊張感のない議会が無関心を招くと考えています。現市長においては、これまでも長年にわたる市立火葬場の随意契約問題や市が出資する株式会社への経費肩代わり問題を追及してきましたが、議場で答えることはありませんでした。

私は豊中市の行政について、清廉性を信用していますが、「議場で答ええない」とが招く不信感があると感じています。

市長は2期目を無投票再選されているので、そうしたことが起因しているのかもしれませんが、「答ええない姿勢」については支持できません。私のように議論したい議員としては、安芸高田市が羨ましいとさえ感じています。

令和5年度では、ことさら2点の点について、市長を指名して答弁を求めましたが、答弁をされませんでしたので、紙上でお伝えしたいと思います。

違算による入札のやり直し

市の取引の大半は入札で公平公正に行われ、金額によって議会承認が必要です。例えば建築工事においては、国

コロナ禍が明けて、インフルエンザが大流行しました。感染症予防には、手洗い、うがい、栄養補給と睡眠確保が大切です。

の定める積算根拠に基づいて工事金額を算出します。市が算出した一定の範囲内で、もともと安価な金額で入札した業者が工事請負契約の優先交渉権者となつて仮契約をし、議会承認、本契約、着工という流れになります。

豊中市では前市長の時代に億単位の工事で違算が発生しました。違算というのは、行政が工事金額の算出を間違ふことです。違算の場合には、入札をやり直すこととなり、仮契約は撤回になります。

業者側からすると、必死の努力で億単位の契約をとつたにもかかわらず、行政のミスでご破算になるわけです。仮契約では、着工準備にかかる経費負担を業者は法的に補償を請求することができず、泣き寝入りすることになります。行政のミスにもかかわらず、市長が謝罪することもありません。私は再発防止と問題が発生した場合における柔軟な対応を当時から求めてきました。

現市長になつて、違算における入札のやり直しが2度も発生しており、9月議会では億単位の仮契約が撤回されました。金額が大きいほど、業者の負担も大きくなりますが、市長がお詫びすることもなく、行政の従前から変わらぬ姿勢に市長を指名して質問を行いました。当時の副市長が現市長であり、入札を所管する当時の総務部長が現副市長であるにもかかわらず、不作為による被害が再発し、責任の所在は明白です。

マチカネポイントはコンビニ払いチャージ(クレカ払いは休止中)で5%還元中、最大2500ポイント付与!(チャージ上限5万円)

市政報告会を開催します!

コロナ禍が明けて、久しぶりの開催です。一人でも多くの方にお会いできることを楽しみにしております。

日時 2024年4月13日10時半
(目安として一時間程度)

場所 新千里南町会館
(途中入退場は自由!)

内容 市議会選挙後の報告
市議会の報告
身近なできごとの意見交換

【お知らせ】

■インキュベーションマネージャーという資格を取得しました。産業振興課や商工会議所の職員さんが取得する資格で、起業相談等を受けて伴走型支援ができます。その立場で、毎週月曜18時よりFM千里にて「社長さん、いらっしゃい!」に出演中です。右記のQRコードより聞いてください。Spotifyでも配信しています。



■これまでの職歴を活かし、起業(副業)、不動産、住宅ローン、リフォーム、生命保険、損害保険のご相談を承ることができます。

【略歴】

しんでん幼稚園
市立南丘小学校
市立第九中学校
府立北野高校
同志社大学法学部政治学科
大阪府信連(JAバンク大阪)

【議員歴】

2007年	2,971票	24位当選
2011年	5,457票	2位当選
2015年	6,024票	5位当選
2018年	市長選挙	落選
2019年	8,379票	3位当選
2023年	6,518票	4位当選

【ボランティア】

豊中ラグビースクール、豊中BBS会他



あなたの暮らしの顧問として、ぜひ松岡あきみちをかりつけの議員にしてください。

こうした経過から、指名されなくても答えるべき質問に対して、市長が答えることはありませんでした。責任をなすりつけられたかのように新任の財務部長と総務部長が必死に答弁をする姿は哀訴にしか見えませんでした。最終的に副市長が答弁されましたが、傍聴されていた方からは疑問の声をいただきました。 ※豊中市議会のホームページからインターネット録画中継「令和5年9月定例会9月28日」をご覧ください。

コンプライアンス違反続出

豊中市においてコンプライアンス違反の案件が大きく2つ発覚しました。①出納閉鎖期日を過ぎた取引②公文書の誤廃棄です。ちょっと難しいですが、①からお話します。公会計は民間企業のような複式簿記ではないことから、出納整理期間が認められており、出納閉鎖期日を越えて取引してはならないと法令で規定されています。

この出納整理期間を悪用すれば、財政状況をよく見せることができ、北海道夕張市は破綻しました。平成19年当時、財政非常事態宣言下であった豊中市は夕張方式と呼ばれた手法で財政状況を歪ませており、マスコミにも取り上げられ、府から指導も受けました。

昨年10月に令和4年度の決算審査がありました。税金がどのように使われたかをチェックする重要な機会です。私が所掌する市民福祉常任委員会では

twitter(matsuokaakimich)に加え、facebook、Instagramでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

豊中市から市の外郭団体（代表は副市長、市職員が事務局）に対する負担金に疑念が生じ、確認すると出納閉鎖期日を過ぎた取引がありました。問題が発生した原因も明らかで、再発防止も可能なことから、大事には至りませんが、行政における法令順守の意識低下を危惧しました。約一か月程度、全庁的な調査をした結果、出納閉鎖期日を過ぎた取引が8件、総額約3千9百万円にも及び金額となりました。

②は、市民の方からの情報提供によって発覚した公文書の誤廃棄です。コロナ禍において、自宅療養中の陽性患者さんへの配食サービスが豊中市でも実施されました。配食サービス事業者は複数ありましたが、そのうちの一家が梱包した配食内容が粗末であり、SNS上で問題視されたことをきっかけにして、マスコミ報道にも繋がりと、裁判にまで発展しました。

こうした経過があるなかで、市民の方から配食サービスにかかる情報公開請求があり、市は文書を公開できない理由として、文書不存在と回答しました。公文書は年限を決めて保存することが法令で規定されています。訴訟事案の公文書が誤廃棄され、情報公開請求によって発覚したことで、コンプライアンス違反であると同時に、隠蔽工作を疑われてもやむをえない重大な事案となりました。当該公文書はデータ上で保存されて

温故創新を受け取ってください、ありがとうございます。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

おり、誤廃棄によって何かを隠蔽した事実はありませんでした。誤廃棄は当該事案を含め、全庁で確認できたのは2件でした。

責任逃れ、議会軽視の極み

昨年の12月議会では、コンプライアンス違反が続出していることについて質問をしました。やはり、新任の財務部長と総務部長が弁明することに終始しました。

市長を指名した質問では、副市長が答弁に立ちましたが、責任を逃れるかのように職員の超過勤務の課題を持ち出して議論をずらし、反省の言葉もありませんでした。繰り返し、市長を指名して質問を継続しましたが、それを遮るかのように副市長が答弁に立ち、挙句の果てには「私が答弁したことが、市長の思い」と発言をする始末です。

副市長の隣の席で何も答えずにいた市長も最後は答弁に立ちましたが、「必要な時には適切に答弁する」とだけ発言し、市長が答える必要さえないと言外に示しました。コンプライアンス違反が続出している重大な事態であること認識さえできておらず、市民の感覚とはかけ離れていて、呆れて悲しくなりました。 ※「令和5年12月定例会12月22日」をご覧ください。

学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

傍聴人をはじめ、インターネット中継をご覧になった方から、不可解な状況に対して問い合わせがありました。もはや行政による議会軽視とさえ言える現状が、まるで他人事のように黙認されています。議論にならない議会は有権者のためにならず、民主主義に大きな問題を孕んでいます。

【お願い】

- 松岡のミカタになってくださる方をお願いしております。左記まで氏名と連絡先をお知らせください。
- 活動経費として、皆様からのカンパをいただければ幸いです。ビール1杯スイーツ1皿分で結構です、ご支援よろしく申し上げます。
- お住いの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストへ「温故創新」を配布してくださるボランティアの方を募集しています。

氏名(匿名可)と連絡先をお伝えください。

TEL: 090-5675-4980

FAX: 06-6871-0775

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

〒560-0084 豊中新千里南町2-7-12-201

※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

※市議会会派温故創新として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。なお頒布にあたっては、政務活動費を充てさせていただきます。